

令和6年 生活習慣実態調査の結果報告

調査の方法

実施主体

健康かごしま21地域推進協議会

調査分析

名瀬保健所

対象

- ・ 小学校・中学校・高校・専門学校の学生
- ・ 保育所・幼稚園・子ども園の園児
- ・ 職場の健康づくり賛同事業所の従業員
- ・ 市町村職員等

期間

令和7年1～2月

調査項目と調査対象

調査項目	調査対象
朝食抜き	3歳以上
喫煙	20歳以上
適正飲酒の認知度	18歳以上(高校3年生を除く)
飲酒頻度・摂取量	20歳以上
睡眠	20歳以上
歯科(噛ミング30認知度)	6歳以上の男女(未就学児を除く)
歯科検診(健診)・かかりつけ歯科医	15歳以上の男女(中学3年生を除く)

※歯科(噛ミング30認知度), 歯科検診(健診)・かかりつけ歯科医の結果は
地域歯科口腔保健推進会議で御報告いたします。

解析：集計①＋集計②の合算

集計①

- ・対象施設に調査票を配付，回収し，集計。（事業所は原則電子アンケート）
- ・調査票は，特定健康診査「標準的な質問票」に準ずる。

集計②

- ・管内市町村が実施する特定健康診査質問票調査結果から集計。（朝食抜き，喫煙，飲酒頻度・摂取量，睡眠に限る）

結果(令和6年度調査)

➤調査票の配付箇所・回答数 ※3歳未満を除く

	回答数	配布箇所	提出箇所
保育所・幼稚園・こども園	784	25	15
小学校	3,465	47	47
中学校	1,719	29	29
高校	1,373	5	5
専門学校	64	2	2
事業所等	1,142	97	-
計	8,547	205	

➤国保特定健診質問票調査結果回答数

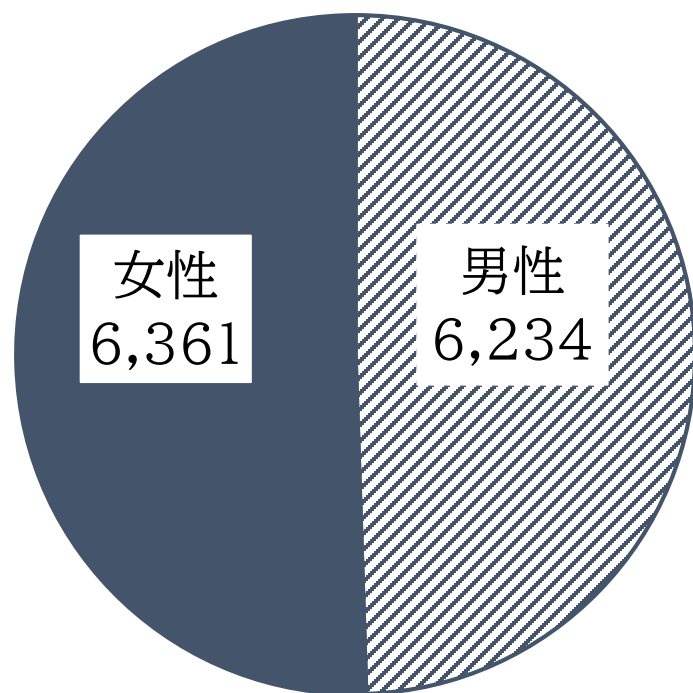
	奄美市	宇検村	大和村	瀬戸内町	龍郷町	喜界町	総数
回答数	2,299	160	91	579	362	557	4,048

(40歳以上75歳未満)

属性(令和6年度調査)

男女比

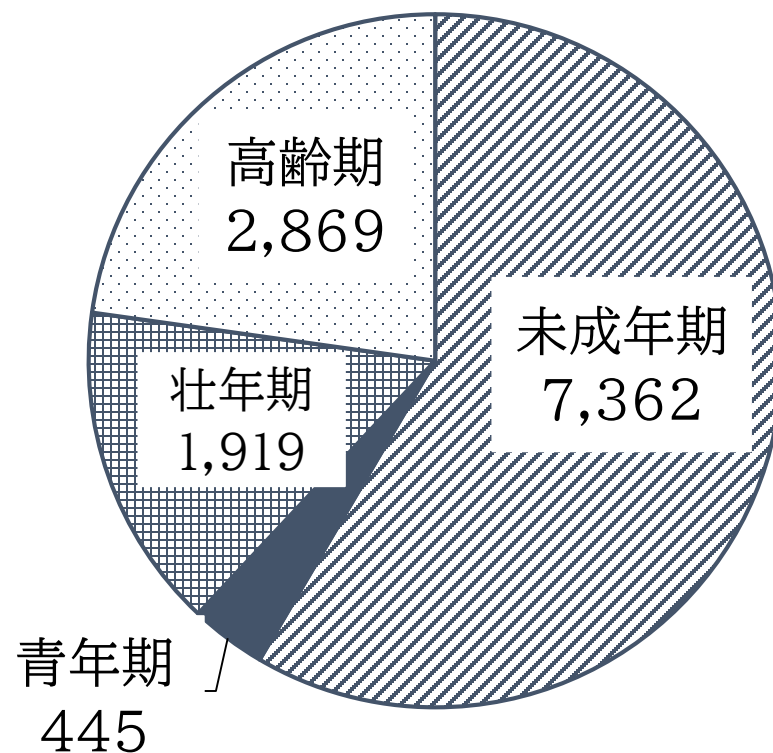
※3歳未満を除く



未成年期: 3歳以上20歳未満
壮年期: 40歳以上65歳未満

年齢構成比

※3歳未満を除く



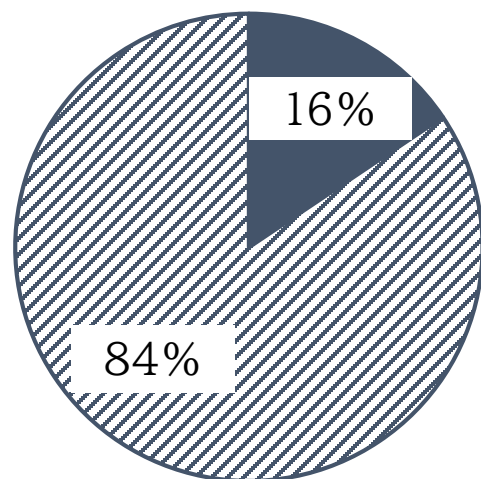
青年期: 20歳以上40歳未満
高齡期: 65歳以上

朝食を抜くことが週に3回以上ある(男性)

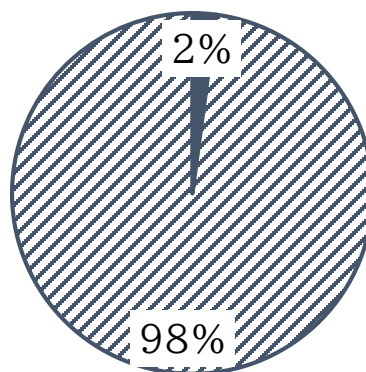
令和6年度は

高校進学後, 朝食を抜くことが週3回以上ある者の割合が増加。

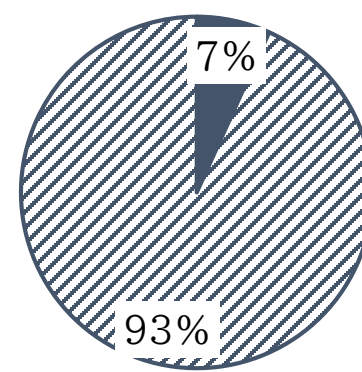
全体



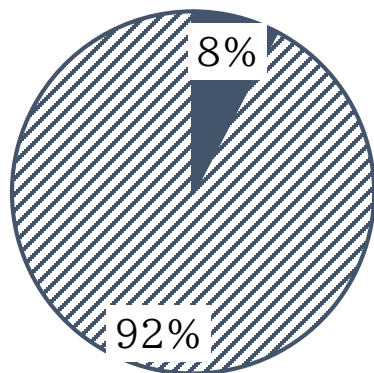
保育所・幼稚園



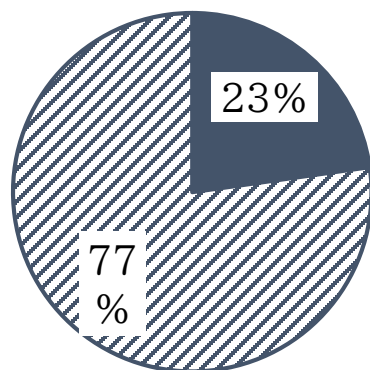
小学校



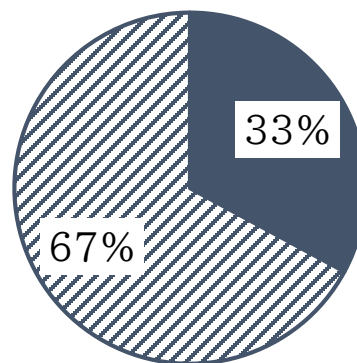
中学校



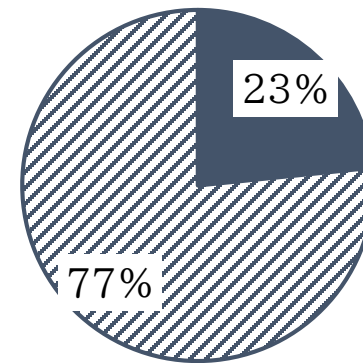
高校・専門学校



事業所



国保

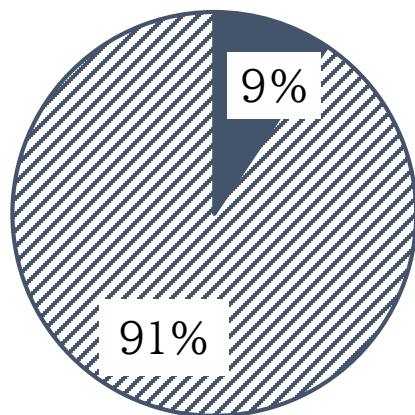


朝食を抜くことが週に3回以上ある(男性)

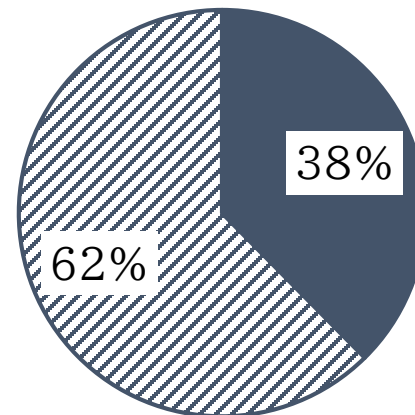
令和6年度は

青年期の38%が朝食を抜くことが週3回以上ある。

20歳未満(未成年期)

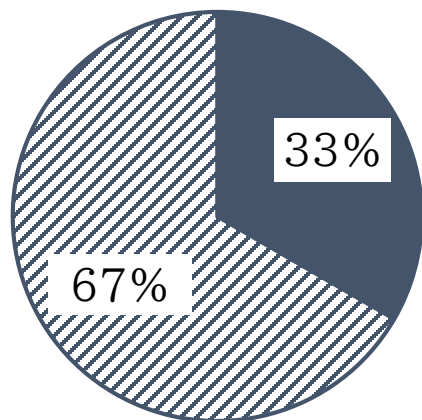


20歳以上40歳未満(青年期)

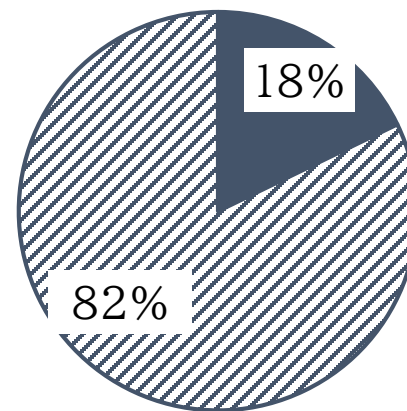


■ある
▨ない

40歳以上65歳未満(壮年期)



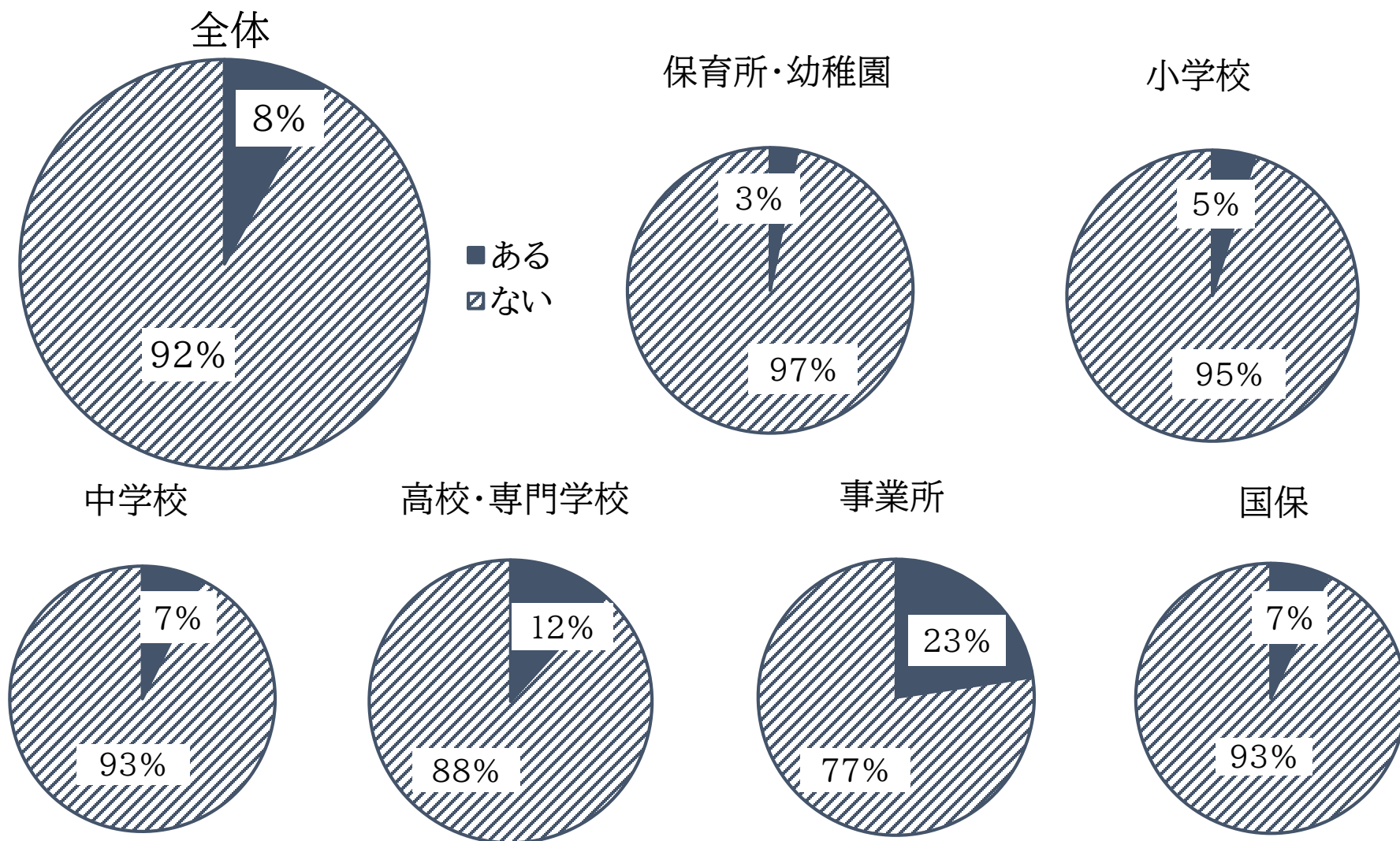
65歳以上(高齢期)



朝食を抜くことが週に3回以上ある(女性)

令和6年度は

高校進学後、朝食を抜くことが週3回以上ある者の割合が増加。

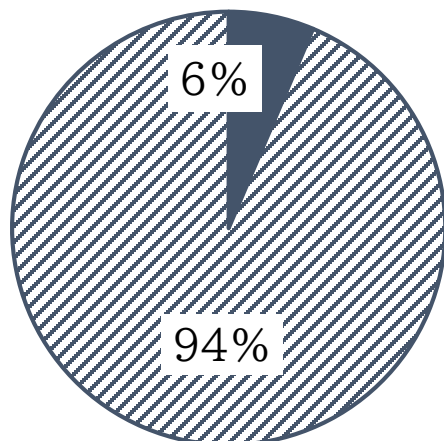


朝食を抜くことが週に3回以上ある(女性)

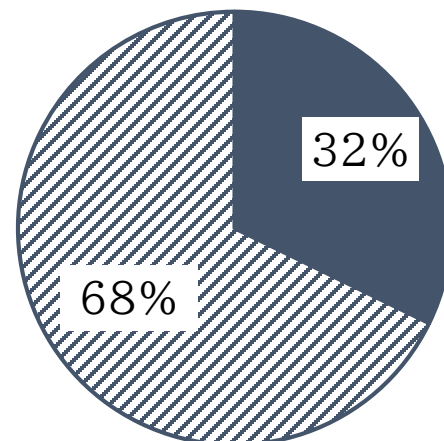
令和6年度は

青年期の32%が朝食を抜くことが週3回以上ある。

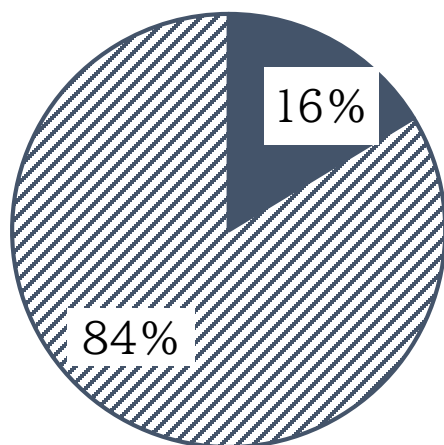
20歳未満(未成年期)



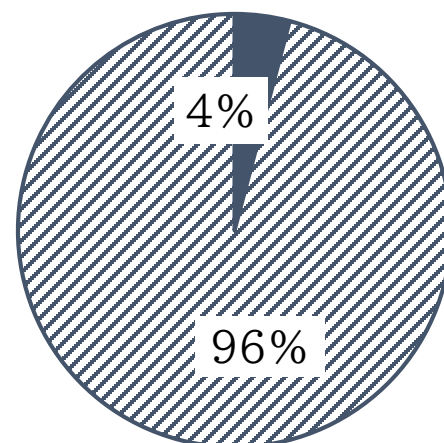
20歳以上40歳未満(青年期)



40歳以上65歳未満(壮年期)



65歳以上(高齢期)



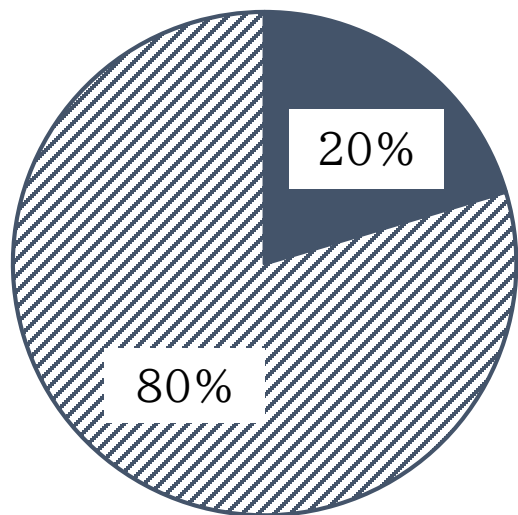
現在, たばこを習慣的に吸っている(男性)

※習慣的:合計100本以上,又は6ヶ月以上吸っていて,最近1ヶ月間も吸っている。

令和6年度は

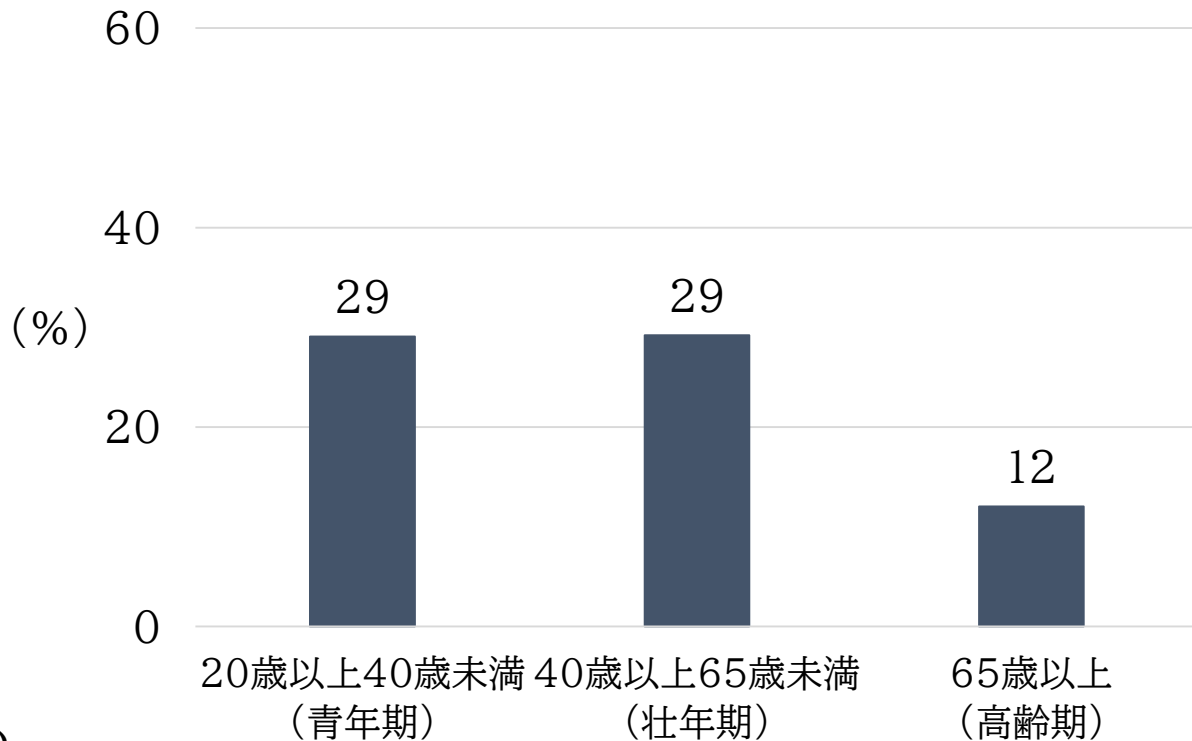
青壮年期の29%が習慣的に喫煙しており,男性全体でみると20%が習慣的に喫煙している。県や国よりやや低い。

〈男性全体〉



■吸っている ■吸っていない

〈年齢階級別〉



県(20歳以上男性):23.3%(R4県民健康・栄養調査より)
国(20歳以上男性):25.6%(R5国民健康・栄養調査より)

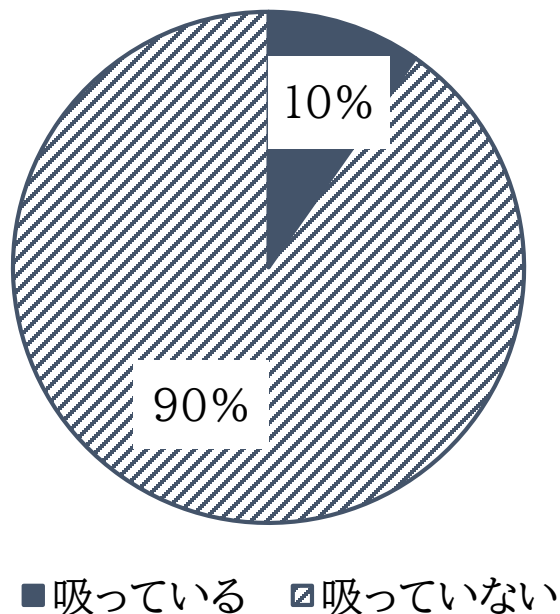
現在, たばこを習慣的に吸っている(女性)

※習慣的:合計100本以上,又は6ヶ月以上吸っていて,最近1ヶ月間も吸っている。

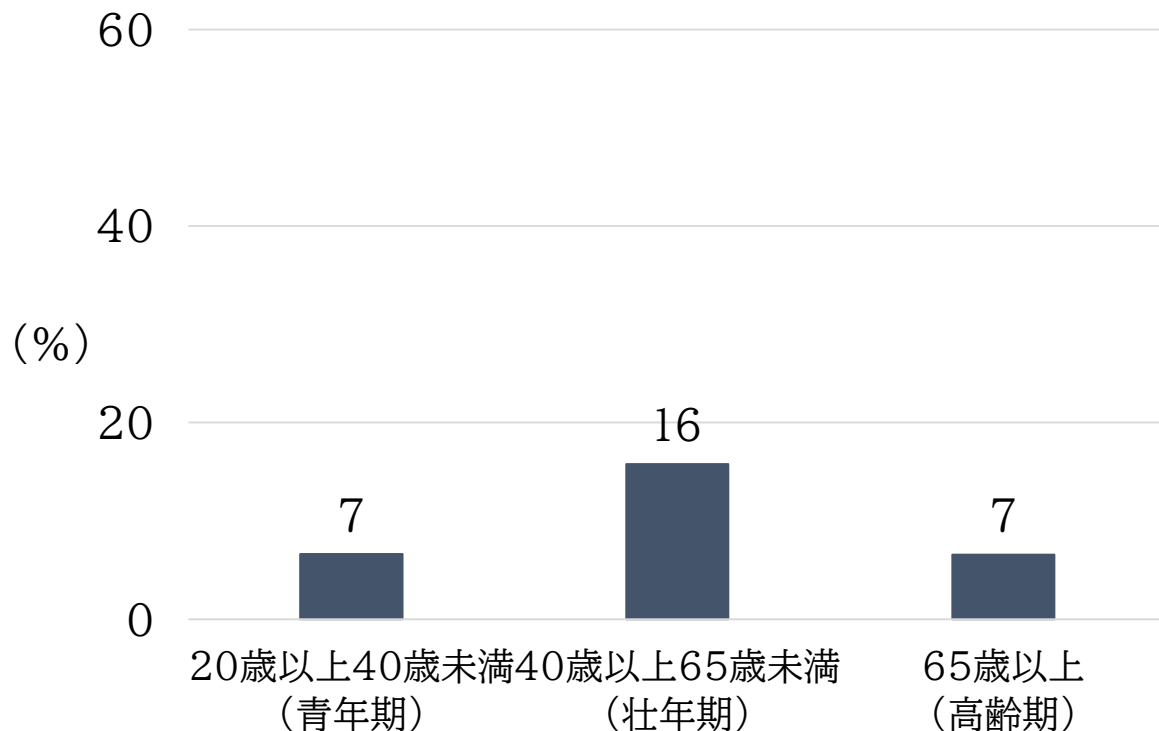
令和6年度は

青年期の7%, 壮年期の16%が習慣的に喫煙しており, 女性全体でみると10%が習慣的に喫煙している。県や国より高い。

〈女性全体〉



〈年齢階級別〉



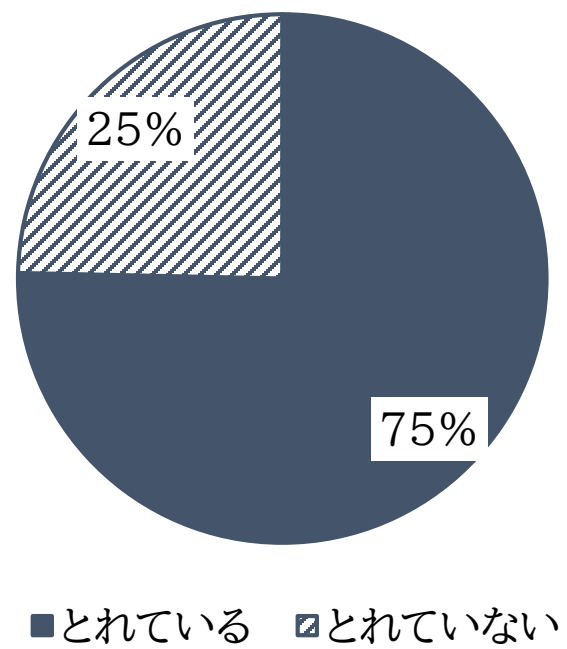
県(20歳以上男性):4%(R4県民健康・栄養調査より)
国(20歳以上男性):7%(R5国民健康・栄養調査より)

睡眠で休養が十分とれている(男性)

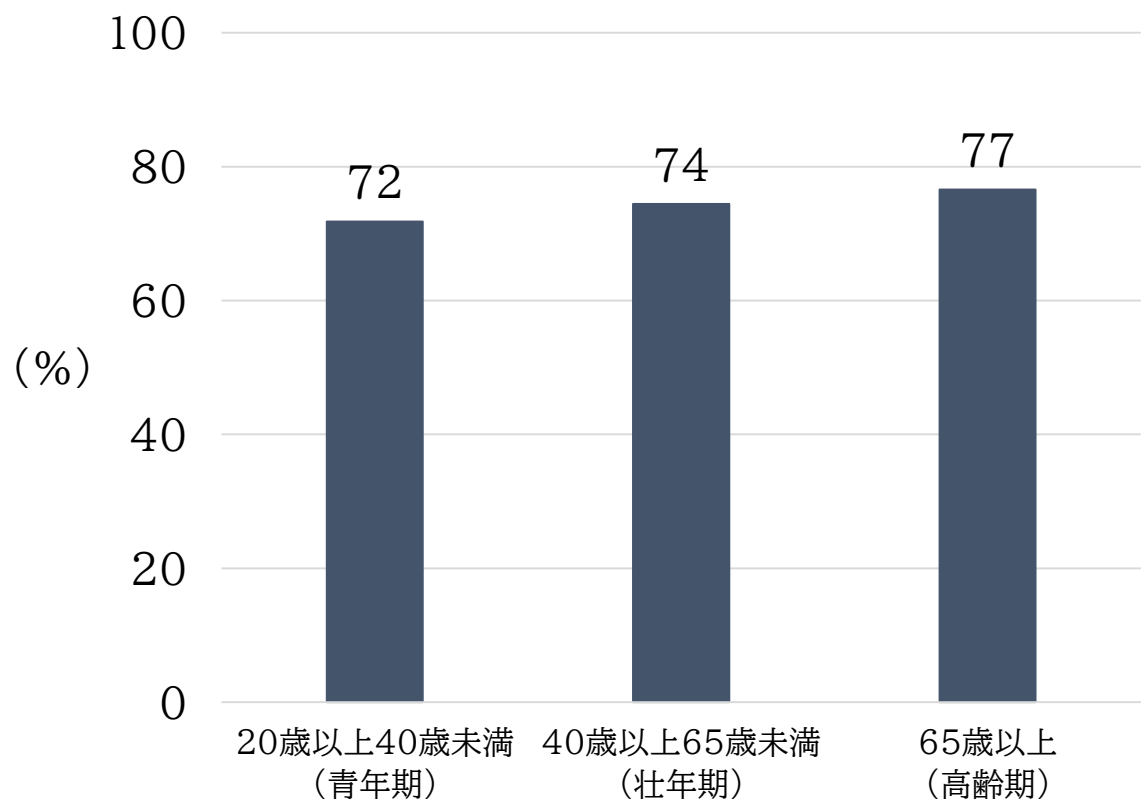
令和6年度は

男性：青・壮年期・高齢期で半数以上が睡眠で休養が十分とれている。

〈男性全体〉



〈年齢階級別〉

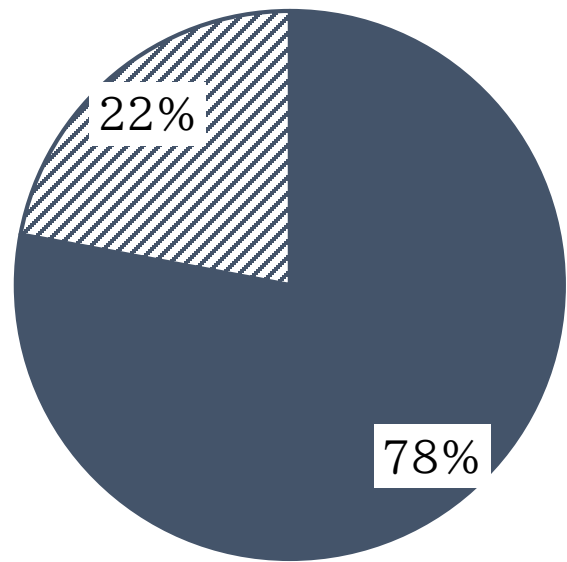


睡眠で休養が十分とれている(女性)

令和6年度は

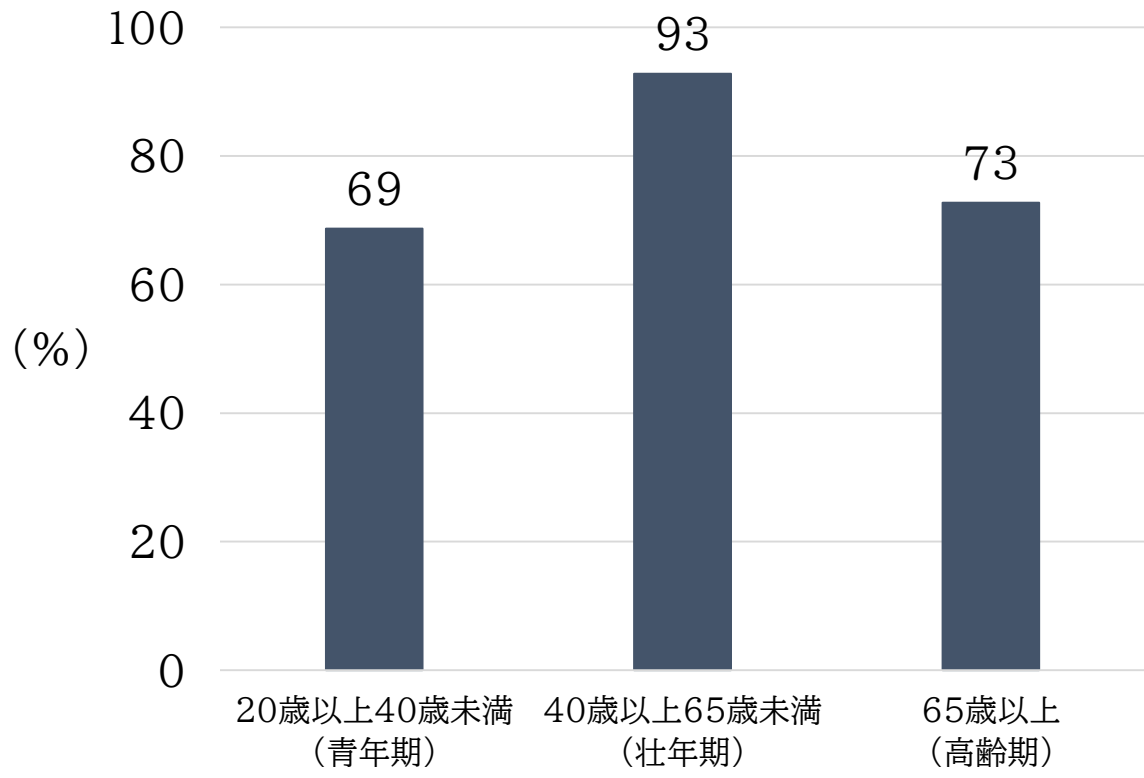
女性：青・壮年期・高齢期の半数以上が睡眠で休養が十分とれている。

〈女性全体〉



■とれている ▨とれていない

〈年齢階級別〉

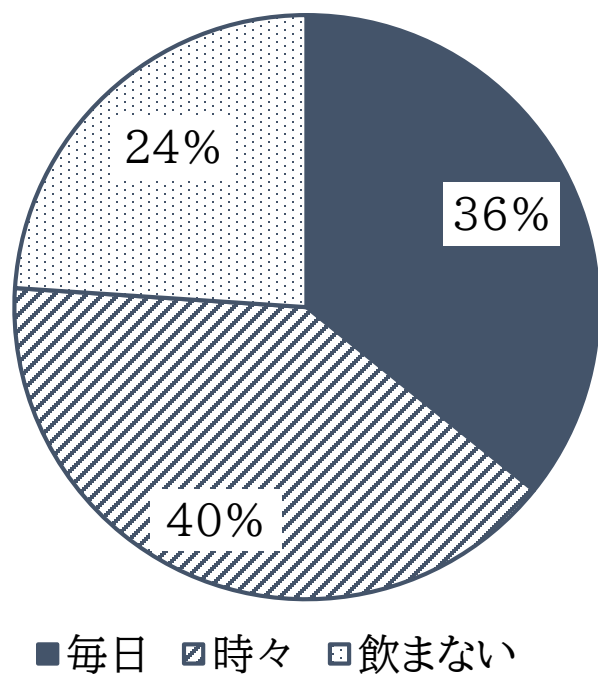


飲酒の頻度(男性)

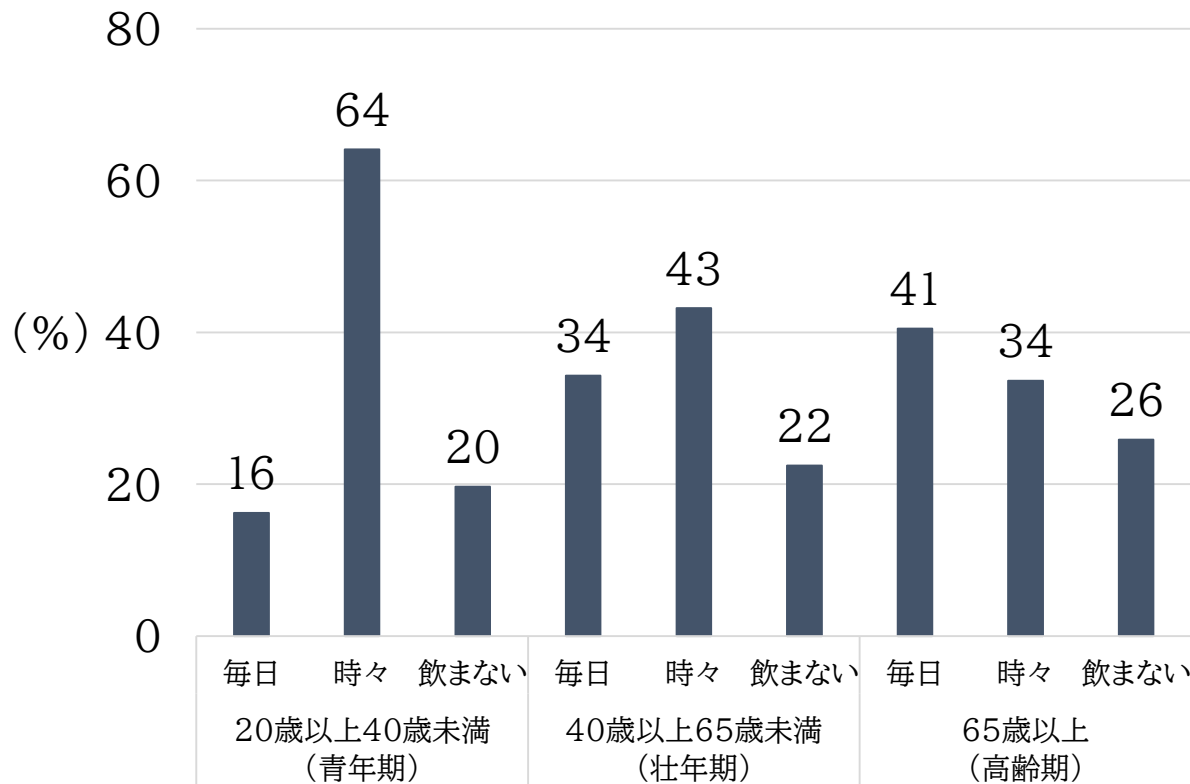
令和6年度は

男性全体では「時々飲酒する」が高い。
年齢階級別では青年期・壮年期は「時々飲酒する」が高く、高齢期は「毎日飲酒する」が高い。県や国より「毎日飲酒する」「時々飲酒する」者の割合が高い。

〈男性全体〉



〈年齢階級別〉



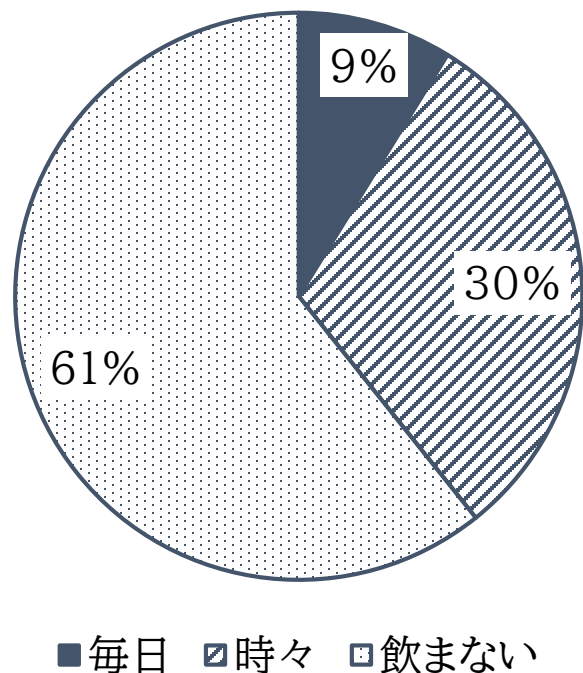
県(20歳以上男性):毎日33.8%, 時々29%, 飲まない37.2%(R4県民健康・栄養調査より)
国(20歳以上男性):毎日27.2%, 時々33.1%, 飲まない39.7%(R5国民健康・栄養調査より)

飲酒の頻度(女性)

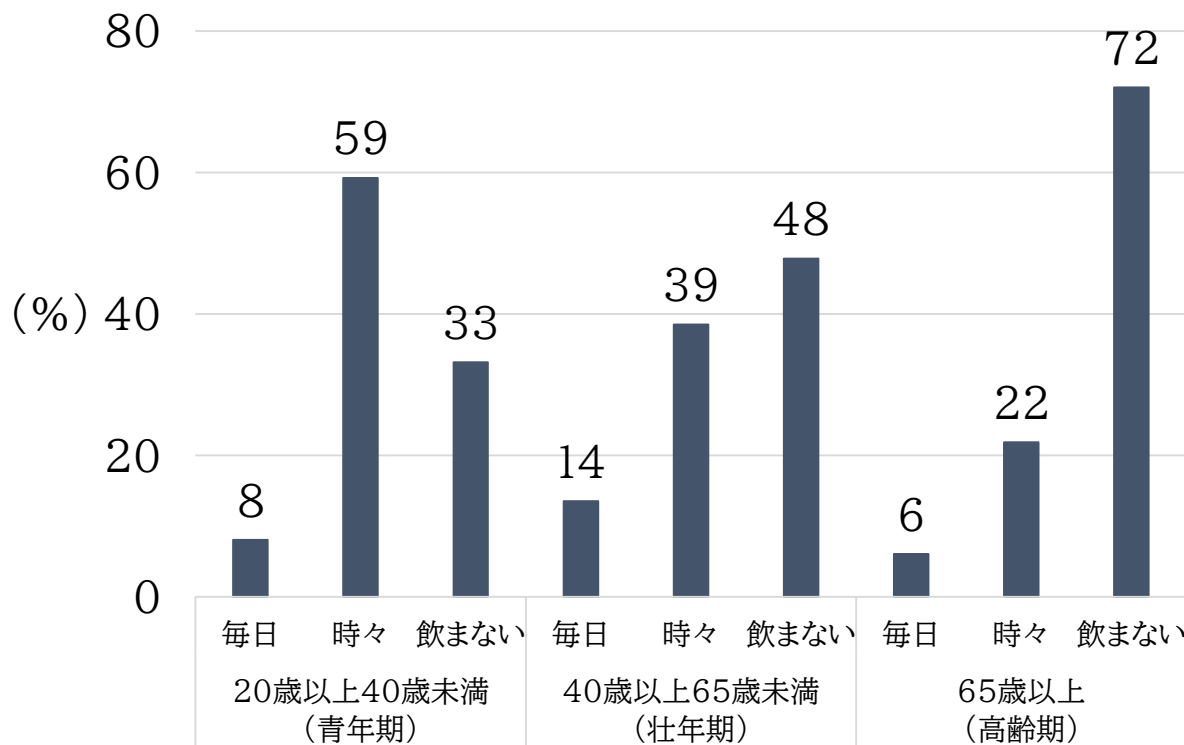
令和6年度は

女性全体では「飲まない」が高い。
年齢階級別では、青年期は「時々飲酒する」が高く、壮年期・高齢期は「飲まない」が高い。県や国より「毎日飲酒する」「時々飲酒する」者の割合が高い。

〈女性全体〉



〈年齢階級別〉



県(20歳以上女性):毎日7.5%,時々24.4%,飲まない68.1%(R4県民健康・栄養調査より)
国(20歳以上女性):毎日7.6%,時々24.6%,飲まない67.8%(R5国民健康・栄養調査より)

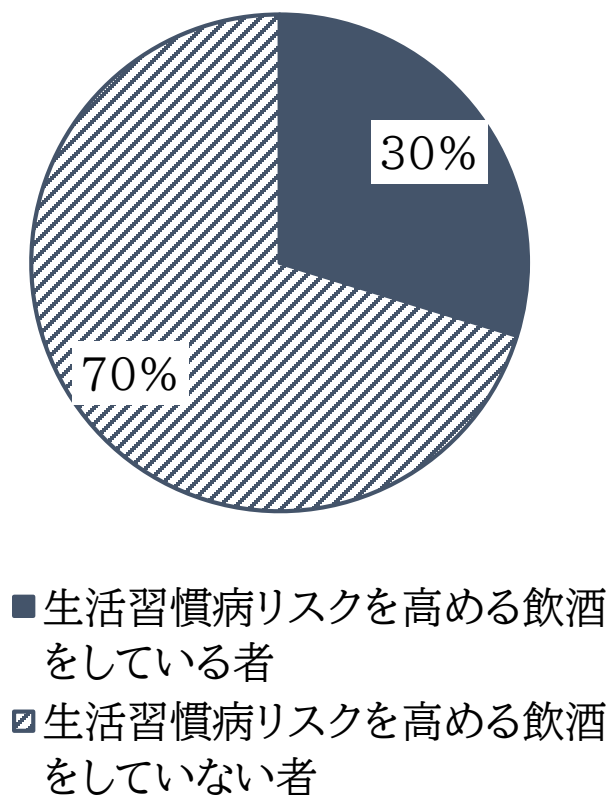
生活習慣病リスクを高める飲酒をしている(男性)

※生活習慣病リスクを高める飲酒(男性):2合以上

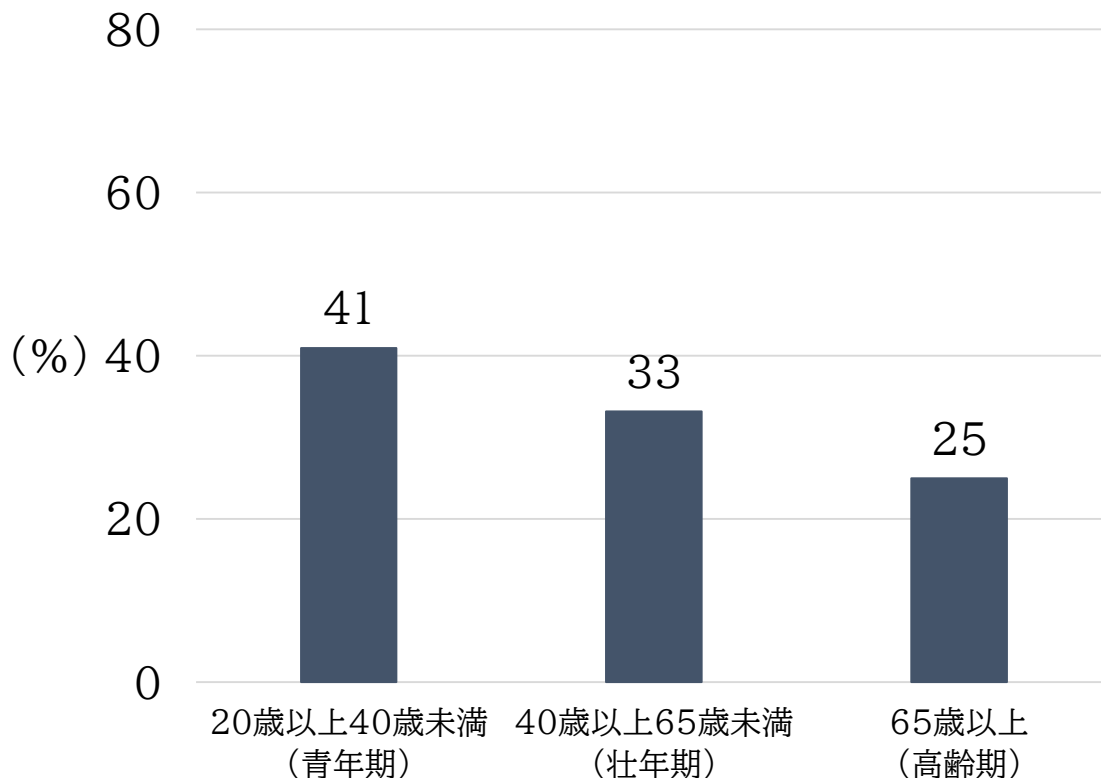
令和6年度は

男性全体では30%が、年齢階級別では、青年期の41%、壮年期の33%が生活習慣病リスクを高める飲酒をしている。県や国より高い。

〈男性全体〉



〈年齢階級別〉



県(20歳以上男性):13.3%(R4県民健康・栄養調査より)
国(20歳以上男性):14.1%(R5国民健康・栄養調査より)

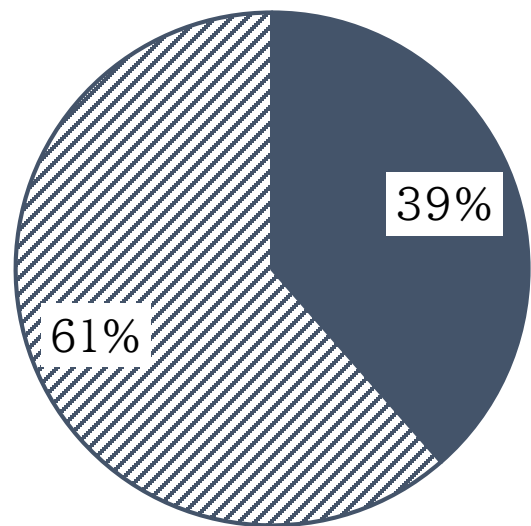
生活習慣病リスクを高める飲酒をしている(女性)

※生活習慣病リスクを高める飲酒(女性):1合以上

令和6年度は

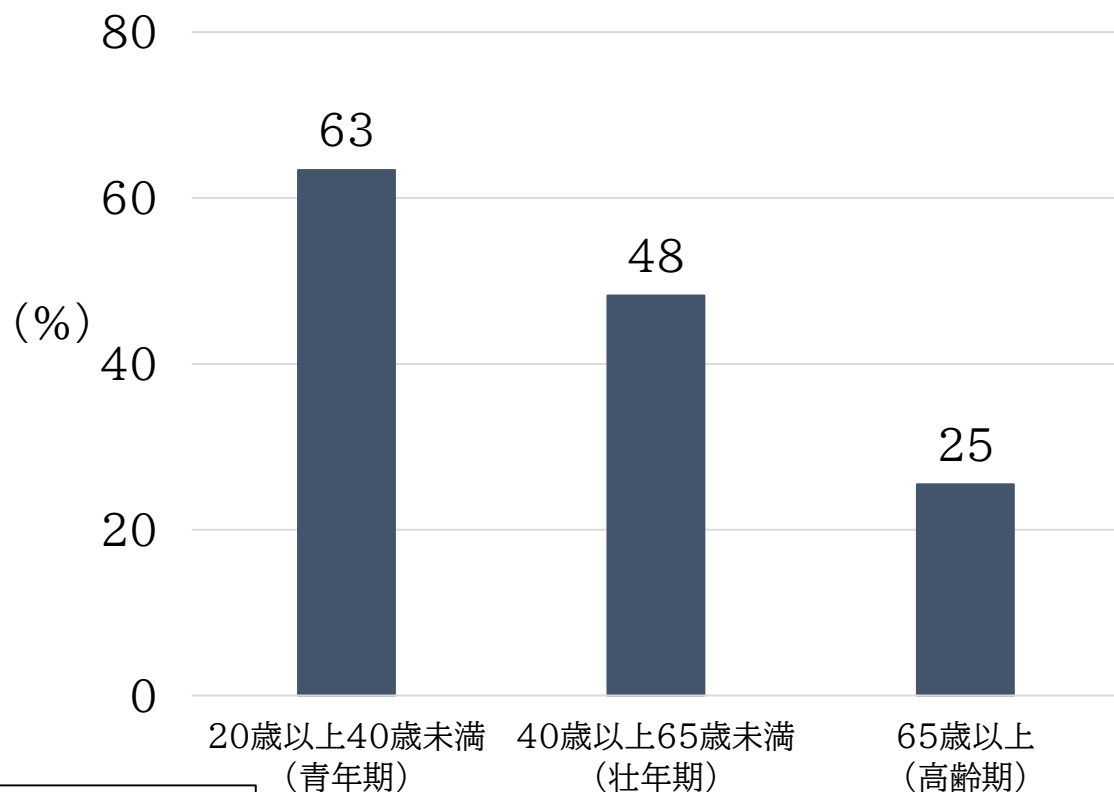
女性全体では39%が、年齢階級別では青年期の63%、壮年期の48%が生活習慣病リスクを高める飲酒をしている。県や国より高い。

〈女性全体〉



- 生活習慣病リスクを高める飲酒をしている者
- ▣ 生活習慣病リスクを高める飲酒をしていない者

〈年齢階級別〉



県(20歳以上女性):7.4%(R4県民健康・栄養調査より)
国(20歳以上女性):9.5%(R5国民健康・栄養調査より)

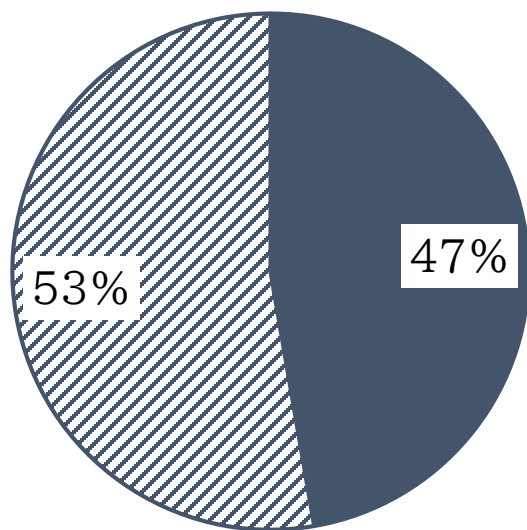
適正な飲酒量を知っている(男性)

※適正な飲酒量:純アルコール量20g/日

令和6年度は

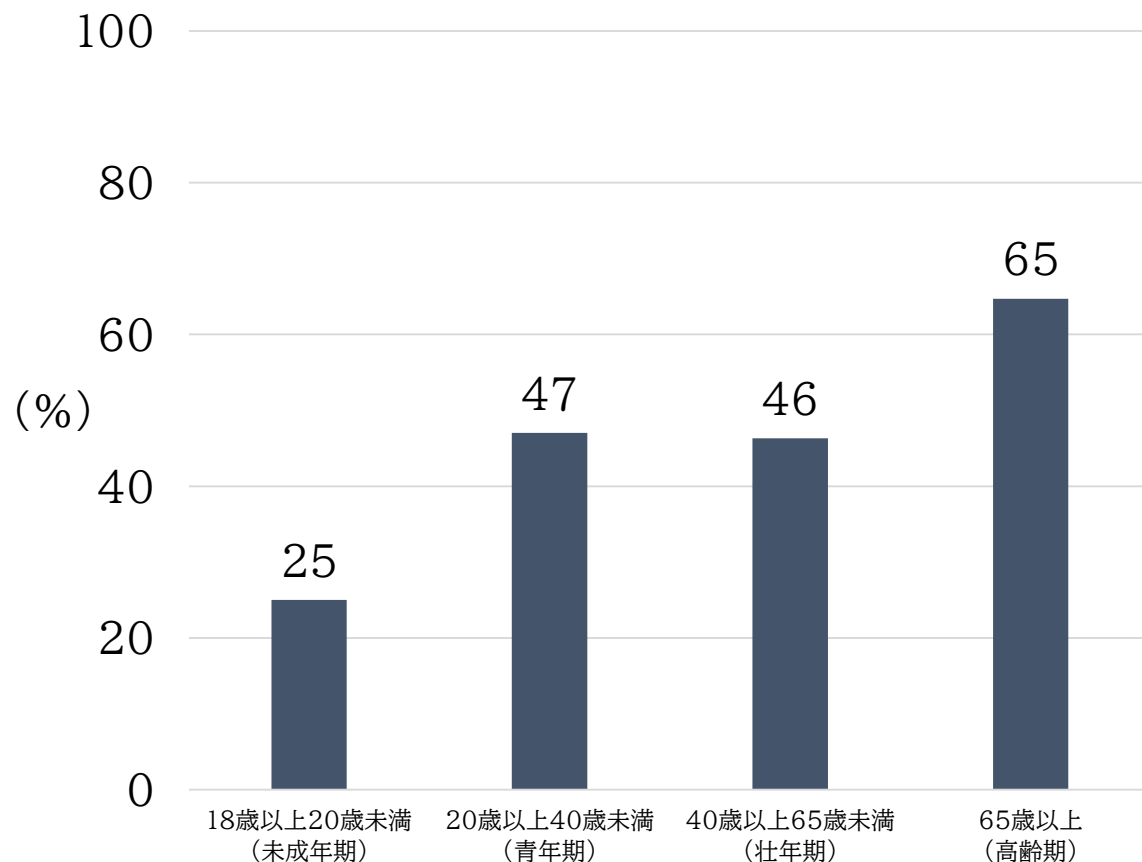
青・壮年期の約50%, 高齢期の65%が適正な飲酒量を知っている。

〈男性全体〉



■ 知っている ■ 知らない

〈年齢階級別〉



※調査対象: 専門学生, 事業所のみ(国保を除く)

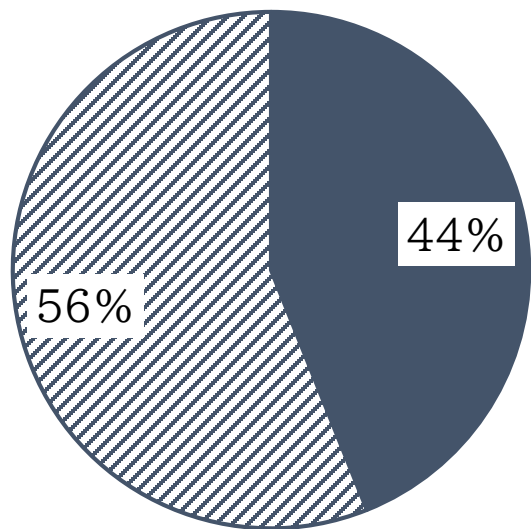
適正な飲酒量を知っている(女性)

※適正な飲酒量:純アルコール量20g/日

令和6年度は

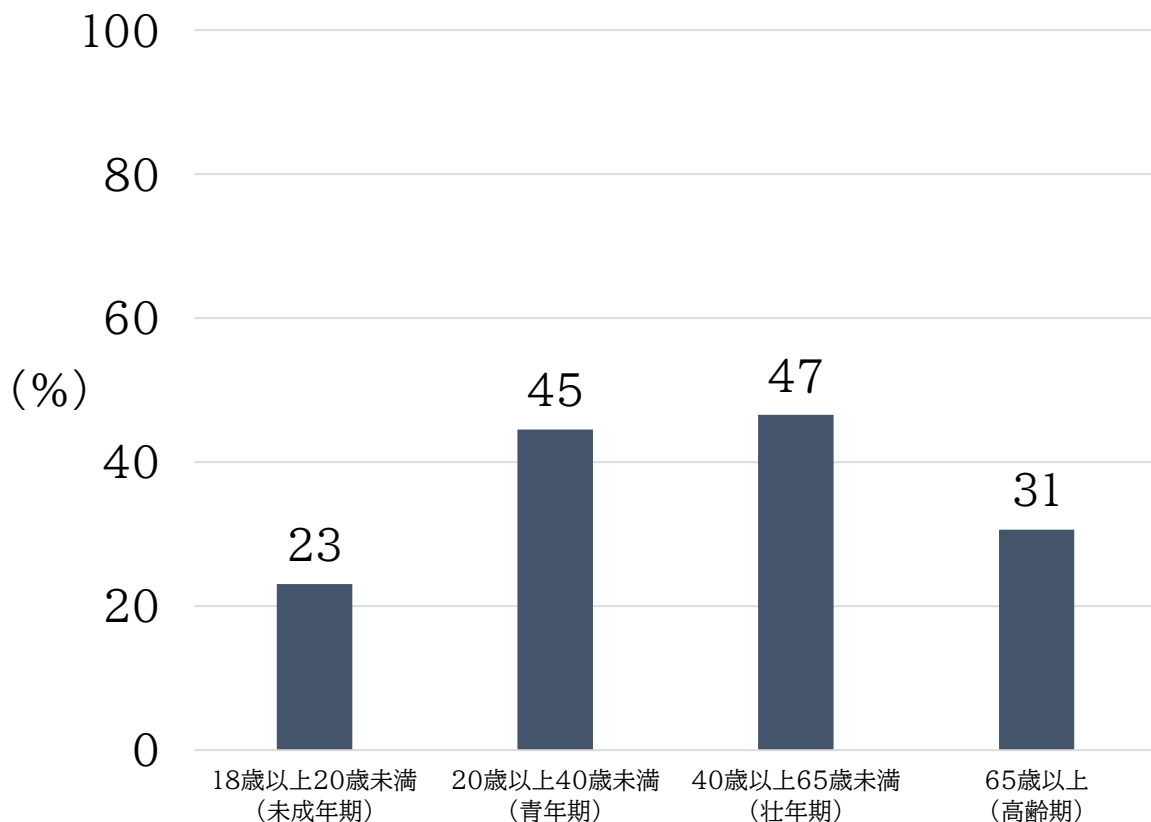
青・壮年期の約50%, 高齢期の約30%が適正な飲酒量を知っている。

〈女性全体〉



■ 知っている ■ 知らない

〈年齢階級別〉



※調査対象:専門学生, 事業所のみ(国保を除く)